

令和4年鋸南町教育委員会第11回定例会議事録

1. 日 時 令和4年10月20日（木）午後3時00分～午後3時55分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人
委員 篠原 恭恵 委員 伊藤 尚徳
4. 出席職員 教育課長 福原 規生
教育総務室長 笹生 いつ子 生涯学習室長 笹生 浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が篠原委員を指名
7. 議事録の承認 令和4年9月15日開催の第10回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者なし
9. 教育長の報告

1点目は、今年度から家庭教育指導員を採用し、家庭教育通信として「ほほえみ通信」を発刊しております。私は、不登校や長欠、虐待など事後指導で終わってしまうという事では解決されないと思います。全ての行いは何のために、何の目標のためにという、ねらいやビジョンがないといけないと思っております。そのような点も考え、家庭教育指導員をお願いし、早速に取り組んでいただいております。この「ほほえみ通信」も不定期ではありますが、保育所、幼稚園、小学校、中学校の保護者や先生方にも配り、広く情報を提供していただいておりますので、委員の皆様にご紹介させていただきました。

もう1点は、10月9日に4年ぶりに第50回安房郡市PTAバレーボール大会が開催されました。結果は、鋸南小学校チームは準優勝で、決勝は鴨川中学校と対戦し、残念ながら敗退しました。リーグ戦で2勝し、決勝まで勝ち進みまして、皆さん良く健闘したと思ひまして、報告いたします。

そして、もう1点は、資料をお配りしましたが、部活の地域移行についてです。教職員の働き方改革で最も問題になっているのは、中学校教員の長時間勤務です。私も長い間教員として勤務をしてきましたが、週50時間以上のオーバーワークをしているような状態です。これは何とかしなくてはならないという事で、スポーツ庁も動いております。過日、中学校運動部活動の地域移行に関する検討会議提言が出されました。それによると、今行っている学校での部活動は、正式な教育課程ではないので、学校外、つまり地域や民間団体に委託しようという事です。しかし、そうは言ってもなかなか課題が多く、簡単にはいかない状況です。教育長会議の中では、受け入れの問題、費用、人材確保など、いずれにしても国の強力な財政支援がなければ実現できないという意見です。

国からの方向性は示されており、まずは、休日の部活動から段階的に地域移行していく事を基本にし、令和5年度の開始から令和7年度末を目途とするという方針です。従いまして、令和8年度からは地域移行するという事で、大変な事ですが、達成できれば中学校教育の大きな変革になると思います。

それから、文科系は運動部と同じように、まずは休日部活動を中止し、地域移行して平日も導入していくというような方向だという事です。令和8年度からは、運動部も文科系部活動も学校の活動ではなくなるというようなことで、これからは教育委員の皆様からも様々な意見や、アドバイスをいただきたいと思います。以上です。

10. 議 事

(1) 議決事項

①議案第1号 鋸南町教育委員会表彰について

- ・ 笹生教育総務室長から、令和4年度教育委員会表彰者4名について、対象者の功績等について説明がなされた。

質疑はなく、全会一位で可決された。

11. 報告事項

(1)行事の後援の承認について

- ・ 笹生教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降3件だった旨、報告がなされた。

(2)各担当からの報告について

①笹生生涯学習室長から、令和4年度第5回見返り美人アートフェスタ入賞者16名について、日本遺産候補地域活性推進協議会事業について、生涯学習室関係のイベントについて、

報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・山野委員から、「見返り美人アートフェスタの応募者が昨年度より増えた理由は。」との質疑に対し、
笹生生涯学習室長から「募集範囲の地域を広げた事と、中学校の応募が多い理由は、美術部があるためだと思われる。」との答弁がなされた。
- ・篠原委員から「日本遺産候補地域活性推進協議会事業では、鋸山観光ガイド育成をしているが、養成講座には何名位参加しているか。」との質疑に対し、
笹生生涯学習室長から「オンライン受講者も含め30名位。年代はシニア世代が多い。」との答弁がなされた。

②教育総務室関係の報告はなし

③福原教育課長から、各学校の様子.行事についての報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・山野委員から、「部活動の地域移行の話があるが、現在、鋸南中学校の部活動数は。」との質疑に対し、
福原教育課長から「6つの部活動が活動している。」との答弁がなされた。
- ・伊藤委員から「スポーツ少年団で活動している児童・生徒は大会に出場できるなど考慮されるのか。」との質疑に対し、
富永教育長から「最近では小中体連もスポーツ少年団出身の出場を認めており、全国大会に出られる。恐らく4年後にはそれが標準になるのではないか。」との答弁がなされた。

(意見等)

- ・篠原委員から「各校では、コロナ禍で密を避けるため授業等を他の教室を使うなど工夫しているようだが、備品の整備を含め、教育環境の整備をお願いしたい。」との意見があった。

12. その他

①笹生教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされ、11月定例会は18日金曜日に変更になった。

②富永教育長から、1月定例会日程について協議があり、19日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

13. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和4年11月18日

鋸南町教育委員会	教 育 長	富 永 安 男
	教 育 委 員	篠 原 恭 恵
議 事 録 作 成	事 務 局	笹 生 い つ 子